

京都府教育委員会教育長 様

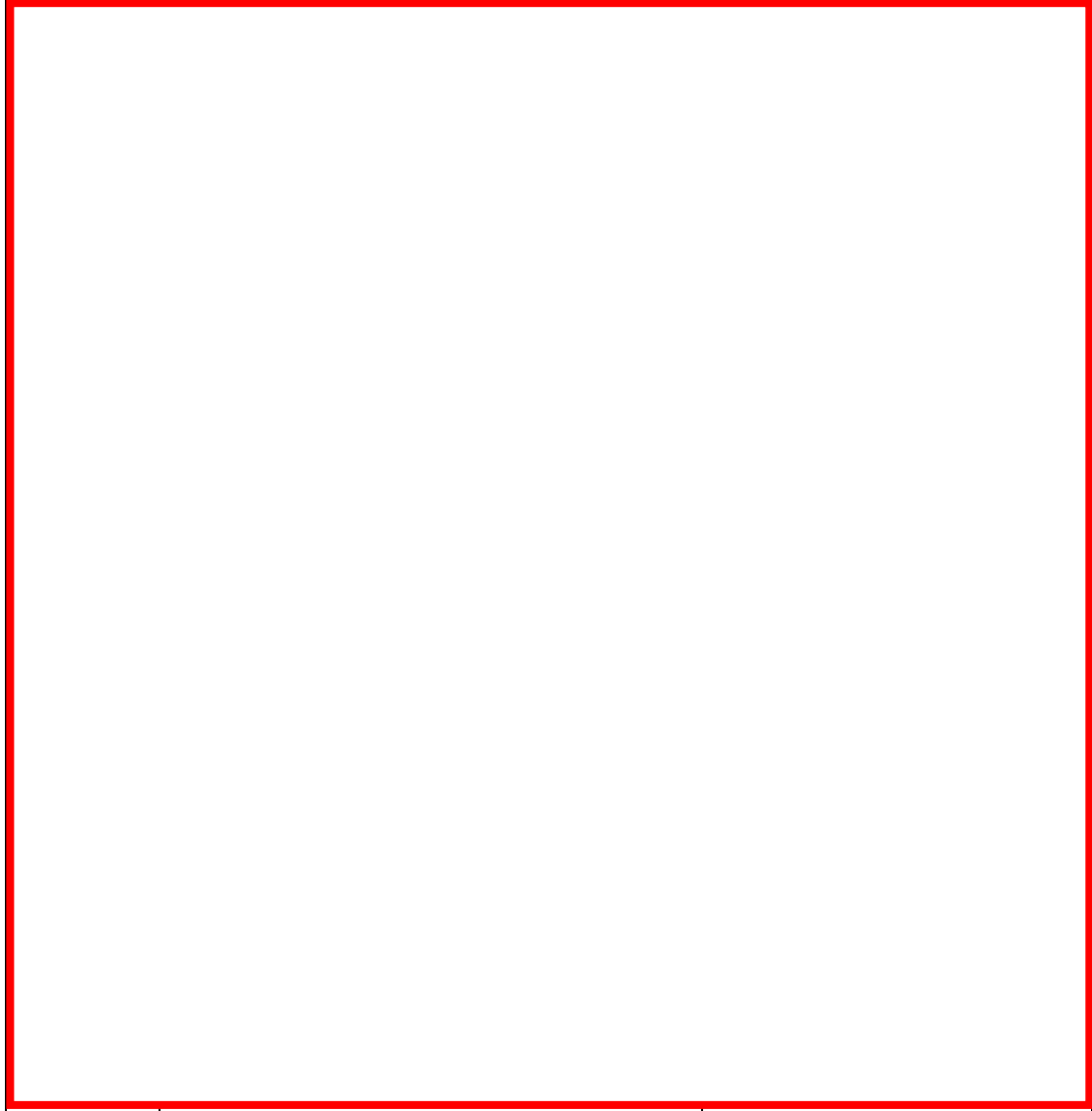
コミュニティ名 LINK  
代表者所属名 京丹波町立 蒲生野中学校  
代表者職・氏名 教諭 乾 和広 (印)

京都府若手教員学び合いのコミュニティ育成支援事業報告書

次のとおり報告します。

|            |  |
|------------|--|
| 1 コミュニティ名  | LINK   |
| 2 研究テーマ    | オンラインシステムを用いた、教育環境の構築  |
| 3 研究の目的    | (1) 子どもたちに学校でのオンライン教育環境をよりよく届ける<br>(2) オンライン教育環境の強みや弱みを把握する<br>(3) 各学校教職員への iPad 等のオンラインシステムに関する理解を広げ、実践へつなげる  |
| 4 研究の成果と課題 | (1) 成果<br>ア 既存の学校環境に組み合わせる形でのオンライン授業の実践を通して、指導のあり方を研究することができた。<br>イ 集中力を維持して学びやすい環境の構築に必要な諸条件の整理を進めることができた。<br>ウ 「オンラインはあくまでツールでしかなく、どんな力をつけさせたいのかを問うことを忘れてはならない。」という理念を常に確認し、iPad を効率的に活用する手法を研修することができた。<br>エ LINK 通信によって、教員間でオンライン教育環境についての考え方を共有することができた。<br>(2) 課題<br>ア 町内3中学校のうち2校が参加できたが、残る1校の参加者がなかったのが残念であった。今後、呼びかけを行い、研究の成果や取組を町内で共有していきたい。<br>イ ZOOM のアカウント利用費などの IT 関連に関わる費目をどのようにしていけば良いか考えていく必要がある。 |

|             |  |  |        |
|-------------|--|--|--------|
| 5 研究成果の波及方法 | <p>(1) 活動報告としてLINK 通信を発行し、各学校教職員へ広報する。</p> <p>(2) 本園度の活動報告を作成し、来年度の広報と併せて告知する。</p> |  |        |
| 6 研究(活動)実績  | 年月   | 研究(活動)内容 (具体的に記載してください。)   | 活動場所   |
|             | 6月   | ・当面の活動の共有、オンラインコミュニケーションの基本確認  | オンライン上 |
|             | 7月   | ・オンライン授業実践① (数学)   | オンライン上 |
|             | 8月   | ・オンライン授業実践② (数学)   | オンライン上 |
|             | 9月   | <p>・パネルディスカッション</p> <p>「オンライン授業でどんな力をつけられるか」</p> <p>「オンライン授業10年後の未来」</p> | オンライン上 |
|             | 10月  | <p>・パネルディスカッション</p> <p>「1人1台端末で何を変えられるのか? iPad導入に先立って」</p>               | オンライン上 |
|             | 11月  | <p>・パネルディスカッション</p> <p>「1人1台の環境で何が変わるか!？」</p>                            | オンライン上 |
|             | 12月  | <p>・生徒の目線から考える1人1台端末の使い方</p> <p>～学校でのルール作りに向けて～</p>                      | オンライン上 |
|             | 1月   | <p>・1年の活動の総括</p> <p>「子どもたちに学校でのオンライン教育環境をよりよく届けるために」</p>                 | オンライン上 |



※ 紙面が不足する場合は、適宜行を追加し記入してください。